

## 使用上の注意点

### 水漏れ

無垢フローリングは水を嫌います。  
長時間の水漏れは製品のシミ、汚れの原因となりますので、速やかに乾いた布でふき取ってください。  
特にオイル塗装品や無塗装品は、水漏れにより変色しやすいので注意してください。  
また、キッチンや洗面所など水をよく使用する場所には、水切りマットを敷いてください。

### 熱

ホットカーペット、温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は、目隙や表面割れを引き起こすことがありますので、避けてください。  
これらの機器を使用する場合は、熱が直接当たる場所に断熱性の高いマットを敷いてください。  
断熱マットは家電販売店等で購入してください。

### キャスター・重量物

机、テーブルやイスの脚には、布（フェルト）キャップやゴムキャップをかぶせてください。  
荷重のかかった状態でキャスター付きのイスやワゴンを動かすと大きなダメージを受けやすいので、カーペットを部分敷きしてください。  
ピアノなどの重量物は、敷き板を介して置いてください。

### 色違い・やけ

天然無垢製品のため、一枚ごとに色柄が異なります。  
カタログ、ホームページなどの写真との間に隔たりがある場合もありますので、ご了承ください。  
また、木材は紫外線等の影響で変色していきます。無垢製品の特徴としてご理解ください。

## 日常のメンテナンス

極力水を使わないよう、乾いた柔らかい布でから拭きしてください。ウレタン塗装品はかたく絞った布でのお手入れも可能です。  
汚れがひどい場合は下記の方法で対処してください。

オイル塗装品…… #320程度のサンドペーパーで軽く削り、汚れを取り除いてから、その部分に再度塗装をしてください。

ウレタン塗装品… 中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使い、かたく絞った布で拭いてください。油性ペン等は消しゴムで消すか、布にベンジンをつけ手早く拭いてください。汚れが落ちたら乾いた柔らかい布でから拭きしてください。

無塗装品…………… #320程度のサンドペーパーで軽く削り、汚れを取り除いてください。

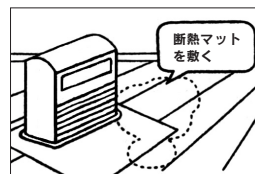
もしくは専門業者への依頼をおすすめします。

(株)バーンリペア  
＜東日本受注センター＞TEL (03)5227-1301  
＜西日本受注センター＞TEL (06)6990-1361  
http://www.burn-repair.co.jp  
全国対応可能

### [ワックス掛け]

定期的にワックスを塗布することにより、フローリングの表面を保護し、より長持ちさせることができます。  
ワックス掛けの際は、ホコリ・チリ等を十分に取り除いた上で適切なワックスを薄くムラなく均一に塗ってください。  
ワックスを多量にまき散らしての塗布はフローリングの品質を損なうことがありますので、絶対にしないでください。

フローリング種別	推奨ワックス	問い合わせ先
オイル塗装品	オスモ専用ワックスクリナー	オスモ&エーデル(株) TEL (0794)72-2001 FAX (0794)72-2000



## 施工前に必ずお読みください。

施工終了後、この説明書をお施主様にお渡しください。

EURO *#1-SLICE*  
FUNCTION

# 天然木 突板貼フローリング

## 施工および使用上の注意点とメンテナンス

〈床暖施工時の注意〉

床暖房施工時には、必ずエンドマッチのメスザネの下端にも接着剤を塗布してください。

〈乱貼り施工推奨品〉

当商品はケースにより、長さの組み合わせが異なるフローリングです。

施工時にはより自然な雰囲気をご体感頂ける、乱貼りの施工を推奨致します。

※免責事項…施工後の返品や交換には応じかねます。

## 1. 施工前に確認

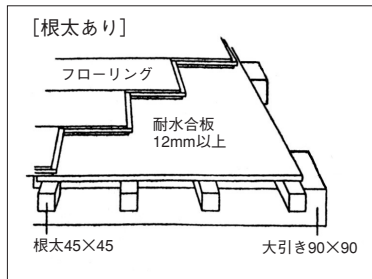
- 広葉樹は無垢材の性質である膨張・収縮が施工後に起こることを防ぐために必ず開梱した状態で放置し、十分施工現場の環境に馴染ませてください。
- 針葉樹は開梱後長時間放置されますと、施工現場の環境により反り、曲がり、表面割れ等が発生する恐れがありますので、その点ご留意ください。
- 当フローリングは内装用です。外装には使用しないでください。
- 床暖房には床暖房対応商品をご使用ください。ただし、床暖房対応商品でも一定の膨張・収縮は生じます。
- 換気口は十分に設置してください。（建築基準法施行令：外壁の床壁部に、長さ5cm以下毎に300cm<sup>2</sup>以上の換気口設置）
- 床下の換気が十分でない場合、施工後に反り、突き上げ、床鳴り等が発生する恐れがあります。
- 雨風が吹き込むことのないよう、サッシ部分等開口部の取り付け後に施工してください。

## 2. 下地施工

床下と下地合板が湿気を含んでいないことを確認してください。

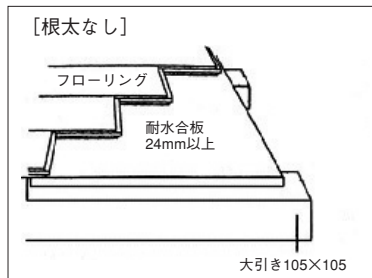
### 【根太あり】

- 大引きは90mm角以上、根太は45mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- 大引き間隔は1000mmまたは3尺（910mm）、根太は1尺（303mm）とし、レベル（水平）を出して施工してください。
- 必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の耐水合板を使用してください。  
また、捨て貼り合板同士の間は、2～3mmあけて施工してください。
- 0.1mm厚以上の防湿シートを根太と捨て貼り合板の間に敷き込んで施工してください。
- フローリングは根太と直交するように施工し長手方向の接続部分は根太上に来るようにしてください。



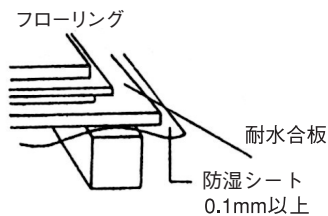
### 【根太なし】

- 大引きは105mm角以上の乾燥材を使用し、プレーナーで平滑に仕上げてください。
- 大引き間隔は1000mmまたは3尺（910mm）とし、レベル（水平）を出して施工してください。
- 必ず24mm以上の耐水合板を貼ってください。
- 0.1mm厚以上の防湿シートを大引きと合板の間に敷き込んで施工してください。



## 防湿処理

フローリングの膨らみを防ぐため、床下のコンクリートは含水率10%以下になるまで十分に乾燥させ、風通しを良くしてください。また、必ず耐水合板の下に防湿シートを敷き込んでください。さらに、下地合板が湿気を含んでいないことを確認してください。



## 3. 仮並べ

- 天然木のため一枚一枚異なります。貼り始める前に仮並べをし、色、柄のバランスをとって全体の品質を確認いただいた上で施工してください。
- 表層に無垢素材を使用した商品ですので、施工時に一定程度のハネ品が出ます。  
また稀に節割れ・虫食いの跡が入る場合があります。あらかじめご了承下さい。
- 極端に色、柄などおかしいもの、その他お気づきの点があれば、貼る前にご相談ください。
- 極端に小幅材がこないよう、貼り込み前に割り付けを行ってください。
- 下地合板の接続部分とフローリングの接続部分が重ならないようにしてください。

## 4. 貼り込み

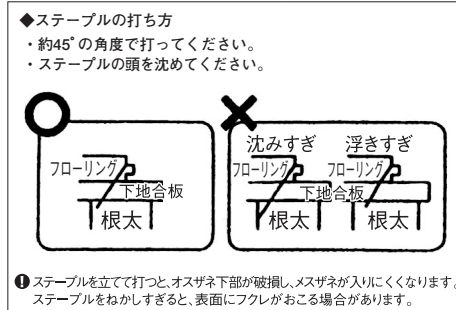
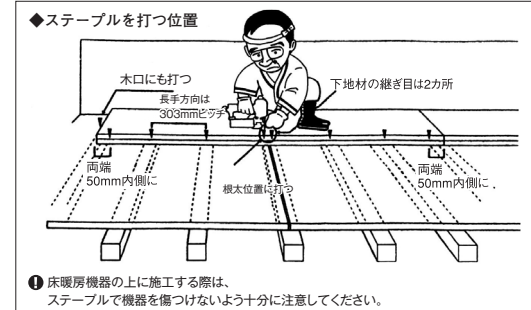
### [広葉樹フローリング、竹フローリング]

- 必ず接着剤とフローリング用ステープルの併用でおこなってください。
- 接着剤はF☆☆☆☆認定の1液型ウレタン樹脂系接着剤を使用してください。  
水溶性の接着剤は床鳴りの原因となるため使用しないでください。
- サネやその近接部には接着剤を使用しないでください。
- サネを強く叩き込むと、無垢材の性質上、施工後の反り、突き上げ、割れ等の原因となります。  
（当フローリングは、「スペーサー」を使う必要はありませんが多少緩めに貼り込み、壁際は5～10mm程度あけてください。）
- 広いホール等に施工する場合は、できる限り隙間を設けてください。



<推奨接着剤>  
(株)オーシカ セレクティールUR-20、UR-21 または同等品

### ステープル固定方法



## 5. 養生

- 養生前にごみをきれいに取り除いてください。

養生テープを直接フローリングに貼らないでください。

[オイル塗装品、無塗装品]

養生テープにより木地破損することがあります。

[ウレタン塗装品]

養生テープの接着成分と塗料の成分が一体化し、塗膜剥離を起こすことがあります。

